

第5学年 音楽科学習指導案

活動日 平成14年2月16日
 授業者 伊佐治 晃
 活動場所 音楽室(校舎4階東)

1. 題材名 「音楽の特ちょうを感じて」
 教材名 「気球よ ぼくらのゆめのせて」 (全14時間)

2. 単元について

この題材では、スタッカートやレガート、速度など旋律がもっているいろいろな表情や、拍子によって曲想が変化することを味わい、それらを表現に生かしていく活動を進めていく。「楽曲の拍子」では8分の6拍子を扱い、揺れるような、穏やかな感じを指揮の動作など身体表現でつかみ、歌えるようにする。

児童はこれまで二部合唱への取り組みで響き合う美しさも感じてきた。しかし、自分のパートの音程をつかみ歌うことが精一杯で、曲想を歌い方に生かしたり、別パートの声を聴き、響き合う美しさを感じながら歌ったりすることまでは十分できていない。

そこで、パート練習でも相手パートを意識しながら歌う練習ができるように、コンピュータの画面上で必要なパートを選んで聴いたり、音量を自由に変えて聴いたりできるDTMを活用した練習形態を取り入れていく。自分たちのパートを聴きながら歌ったり、相手パートを聴きながら歌ったりと練習を選び、主体的に進めていけるようにしたい。

3. 願う子どもの姿

2つのパートが響き合う二部合唱をめざしてパート練習に励み、別パートの声を聴きながら自分のパートを歌うことができる。

4. 研究内容との関わり

- 研究内容Ⅰに関わって(基礎・基本を確立するための、情報カリキュラムにのっとった単元指導計画の在り方)

児童が主体的に練習に取り組み、ねらいにせまることができるように必要な部分だけを演奏させたり、聴きたいパートを選んで演奏させたりすることが容易なDTMを活用して、パート練習をすすめていく。このような学習活動を仕組むことで、自分たちに必要な情報を選び、活用していく姿を期待する。

注 DTM: Desk Top Music の略。コンピュータと音源によって音楽をつくったり、演奏したりするシステムのこと。

- 研究内容Ⅱに関わって(基礎・基本の力をつける学習活動の在り方)

DTMを活用し、別パートの旋律を聴きながら歌う練習をすることでパート練習が充実し、全体練習では響き合いを感じながら歌うことができるようになる。また、聴き合う場を設け、よりよいものにしていくための練り合いを大切にする。

- 研究内容Ⅲに関わって(基礎・基本の定着を図る自己評価の在り方)

「合唱を録音して聴く」という時間を設け自己評価や相互評価をしていくことで練習の成果を確かめるとともに、次の課題を見つけ、ポイントを絞った練習ができるようにする。

5. 単元指導計画

		ね ら い	主 な 学 習 活 動	自ら学ぶ姿の育成
第 一 次	1 ↓ 3	・日本の伝統音楽の旋律の特徴を感じ取って聴いたり，表現したりする。	・曲の特徴を感じながら歌う。 ・色々な日本の民謡を聴き，日本の旋律に親しむ。	曲を聴いて感じたことを進んで発表できる。
第 二 次	4 ↓ 9	・楽器の音色の特徴を生かしたり，全体の響きを感じ取ったりして合奏する。	・曲全体の感じをつかみ，主旋律の演奏をする。 ・リズム伴奏の工夫をする。 ・旋律楽器とリズム楽器で合奏をする。	楽器演奏の個人練習を進んで行う。 仲間と聴き合いながら合奏の練習をする。
第 三 次	10 本 時 ↓ 14	・6拍子の特徴を感じ，拍の流れに乗って歌うことができる。	・6拍子の特徴を感じ取りながら，聴いたり歌ったりする。 ・6拍子の流れを感じながら二部合唱をする。 ・拍子やリズムの変奏をする。	体で拍子をとりながら歌うことができる。 曲想を意識した歌い方を工夫することができる。自分のパートを繰り返し練習することができる。

6. 本時の目標 (11/14)

伴奏，旋律を入力したコンピュータを活用してパート練習をすすめることで，自分のパートに自信を持つとともに，別パートの歌声を聴きながら二部合唱を楽しむことができる。

7. 本時の評価規準

表現の技能	二部合唱の響き合いを感じ取りながら歌うことができる。
-------	----------------------------

8. 本時の展開

段階	学 習 活 動	研究に関わって ◇資料 ○評価 →支援
つかむ	0. 既習曲を歌う。 1. 本時の課題が分かる。 「気球よ ぼくらの夢のせて」主旋律，副旋律を歌う。 - 前時録音したものを聴いて，感想を発表する。 他のパートを聴きながら二部合唱できるようになろう。	
ふかめる	2. パート練習をする。 (1) 個人練習 自分のパートの歌が流れる スピーカー前に立って歌う。 徐々にスピーカーから離れるように移動していく。 (2) ペア練習 中央でペアをつくり向かい合い，相手の声を聴きながら歌う。 (3) グループ練習 ペアグループで聴き合い アドバイスし合う。 3. 発表会をする (1) グループ発表 立つ位置や流してほしい旋律を選択して歌う。 (2) 全体で歌ってみる 録音して聴く。 感想を交流する。 この前よりもずっときれいに二部合唱が響くようになったね。 主旋律 スピーカー 副旋律 スピーカー 1 G 2 G 副旋律が少し強く歌いすぎじゃないかな 音程は正しく歌えていると思うよ。 副旋律が少しつられてい るんじゃないかな。メロ ディーを小さな音で流し てもらおうよ	◇コンピュータによる伴奏 とデジタル録音した歌声 ○他パートを聴きながら自 分のパートを歌うことが できる。 →自信を持って歌えない児 童はできるだけスピーカ ーに近づいて歌うように する。 自信が持てたら徐々に場 所を移動させ，別パートの 歌を聴きながら歌う練習 をすすめる。
まとめる		→弱いパートのメロディー を小さな音で流して歌う。